

# 令和元年度 第2回兵庫県スポーツ推進審議会

と き : 令和2年3月24日(火) 14:00~15:30  
と ころ : 兵庫県民会館 「福」

## 1 開会

## 2 委員・幹事紹介

## 3 署名委員の指名

## 4 前回議事録の報告

## 5 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応状況

(2) 令和2年度の事業概要について

- ① スポーツ振興課
- ② 体育保健課
- ③ ユニバーサル推進課

## 6 審議事項

「令和2年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について

## 7 閉会

## スポーツ推進審議会委員

(任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日)

	分 野	氏 名	(所属・役職名)	出 欠
1	スポーツ社会学	山口 泰雄	流通科学大学特任教授 神戸大学大学院名誉教授	出 席
2	スポーツ科学	長ヶ原 誠	神戸大学大学院教授	欠 席
3	食育・栄養学	平野 直美	神戸女子短期大学教授	出 席
4	こども発達学	倉 真智子	神戸松蔭女子学院大学教授	出 席
5	医科学	吉矢 晋一	西宮回生病院整形外科センター顧問	出 席
6	コーチ学	鷗木千加子	甲南大学教授	出 席
7	ス ポ ー ツ 関 係 団 体	尾山 基	(公財)兵庫県体育協会副会長	欠 席
8		恒木 克仁	兵庫県スポーツ推進委員会会長	出 席
9	競技種目団体	小林 芳子	日本スケート連盟強化部長	欠 席
10	障害者スポーツ全般	増田 和茂	兵庫県障害者スポーツ協会理事	出 席
11	高等学校 スポーツ関係	廣瀬 雅樹	県高等学校体育連盟会長	欠 席
12	中学校 スポーツ関係	村崎 和幸	県中学校体育連盟会長	出 席
13	報 道	陳 友昱	神戸新聞社運動部長	出 席
14	公 募 委 員	榎並 由美	ひょうご女性スポーツの会 (小学校長)	出 席
15		石角 洋子	保護者 (スポーツ指導者)	出 席

## 兵庫県スポーツ推進審議会幹事

	氏 名	役職名	出 欠
1	一幡 孝明	企画県民部 管理局 私学教育課長	代 理 山本専門員
2	竹谷 貴子	企画県民部 女性青少年局 青少年課長	代 理 中嶋専門員
3	藤原 恵美子	健康福祉部 健康局 健康増進課長	欠 席
4	大久保 徹雄	健康福祉部 障害福祉局 ユニバーサル推進課長	出 席
5	吉田 克也	教育委員会事務局 総務課長	欠 席
6	成田 徹一	教育委員会事務局 財務課長	出 席
7	村田 かおり	教育委員会事務局 義務教育課長	出 席
8	小俵 千智	教育委員会事務局 特別支援教育課長	代 理 吉山副課長
9	西田 利也	教育委員会事務局 高校教育課長	出 席
10	斉藤 眞	教育委員会事務局 社会教育課長	代 理 藪内班長
11	山根 尚	教育委員会事務局 体育保健課長	出 席
12	長島 良行	教育委員会事務局 スポーツ振興課長	出 席
陪席	藤原 博文	(公財)兵庫県体育協会 事務局長	代 理 田村次長
陪席	北中 睦雄	教育委員会事務局 スポーツ振興課参事兼神戸マラソン事務局次長	出 席
陪席	榎 丈直	教育委員会事務局 スポーツ振興課参事兼ワールドマスターズゲームズ2021関西 兵庫県実行委員会事務局副事務局長	出 席

## 令和元年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

1 期日・場所 令和元年10月17日(木) 10:00~12:00  
兵庫県民会館 「1202会議室」  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3

2 出席者  
(委員11名)

山口委員	長ヶ原委員	平野委員	倉委員
吉矢委員	小林委員	増田委員	廣瀬委員
村崎委員	榎並委員	石角委員	

欠席：鶴木委員 尾山委員 恒木委員 陳委員

(幹事10名)

○一幡幹事	竹谷幹事	藤原幹事	大久保幹事
○吉田幹事	○村田幹事	○小俵幹事	○西田利幹事
山根幹事	長島幹事		

欠席：成田幹事 斉藤幹事

北中スポーツ振興課参事(陪席)  
榊スポーツ振興課参事(陪席)  
藤原兵庫県体育協会事務局長(陪席) (○印は代理出席)

(教育委員会)

西上教育長

(事務局)

漁副課長	岡本主任指導主事兼主幹
大森主任指導主事	本多主任指導主事
西本指導主事	

3 開会あいさつ 西上教育長

4 委員・幹事紹介

5 署名委員の指名 署名委員は、小林委員、増田委員に決定

6 前回議事録の報告

平成30年度第3回兵庫県スポーツ推進審議会の審議事項(「2019年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について)、及び報告事項(「兵庫県スポーツ推進計画の改定」について、2019年度の事業概要について)の議事録について事務局より説明し、承認を受けた。

## 7 報告事項

### 令和元年の事業概要について

- ① スポーツ振興課に関する事業概要について、スポーツ振興課長が報告した。
- ② WMG2021 関西に関する事業概要について、スポーツ振興課 榊参事が報告した。
- ③ 神戸マラソンに関する事業概要について、スポーツ振興課 北中参事が報告した。
- ④ 体育保健課に関する事業概要について、体育保健課長が報告した。
- ⑤ ユニバーサル推進課に関する事業概要について、ユニバーサル推進課長が報告した。

## 8 審議事項

### 「地域スポーツの今後の活性化」について

事務局より、「スポーツクラブ 21 ひょうご」について総会員数や年齢構成、クラブの課題等を簡単に説明。全県のクラブを訪問し、約半数の聞き取り調査を行った結果、都市部と郡部で活動状況に大きな差が生じていることを報告した。その後、これからの地域スポーツの活性化などについて、委員のご意見をいただいた。

## ■ 委員の主な意見及び事務局の説明

### 報告事項 令和元年度の事業概要について

#### <WMG2021 関西について>

##### 【石角委員】

- ワールドマスターズゲームズ（以下WMG）は、人によってはスポーツではなくゲームズという言葉で、ゲームの大会と思われる方がいる。テレビ等で具体的な紹介があってもいい。

##### 【WMG2021 関西兵庫県実行委員会事務局】

- テレビ等の活用は、組織委員会でも考えており、メディアパートナーとして関西のキー局全てに参画してもらっている。有名なアナウンサーに大会に参加いただく形で、アナバサダーを任命し、アナバサダーが持っている情報番組でも実際に紹介している。ラジオ、テレビ、新聞も含めて、より丁寧に広報していきたい。

##### 【長ヶ原委員】

- 昨年11月に関西広域連合から調査依頼を受けて、関西圏で1万件の調査をして、都道府県と比較ができるようにした。その時点の推計で、兵庫県で知っていて参加したいと思われる方が8,000人。ボランティアをしたい方が約1万2,000人いらっしゃって、他の県より高かった。
- パンフレットやポスターの影響もあるが、関西マスターズフェスティバルに参加している方が、する、支える、でかなり興味を持ったということで、かなり威力があったのではないかと。母数から考えると、かなり伸びている。続けて事業展開していただきたい。

#### <中学校部活動指導員配置事業>

##### 【石角委員】

- 平成30年度から適切な練習時間や休養日の設定があり、週2回という話を聞いているが、その曜日は学校が決めるのか、それとも県が決めるのか。

### 【体育保健課】

- 学校が決定する。学校で部活毎に休みを決めている。

### 【石角委員】

- 土日に、講習会に著名な選手が来ても受けられない。規定で決められていても、融通はきくのか。

### 【体育保健課】

- 大会に向けて練習をしているときには、休めない期間、時期もある。土日試合があって、1日休まないといけないということもできないので、そういう場合は練習が認められている。終わった後に休養を入れて、全体として休むという、そういう柔軟な対応はできる。

### 【村崎委員】

- 明石市の市立中学校では、ほぼ各部活動、守っている。平日は、本校は水曜日、ここに働き方改革と両輪で、職員も早く帰れるように、部活動のない状況なので、終業後1時間以内には帰るようには指導している。土曜日、日曜日はどちらか休みで、これもほぼ100%守っている。大会などでは、明石市は変更届で、教育委員会に届を出せば変更ができる。

### 【廣瀬委員】

- 高校は、中学校とは違う現状があり、頑張ってる生徒の活動を支援したいという先生も多くいる。ただし、ガイドラインが出て、生徒のけがの防止、長期的な生徒への弊害が理解されつつあるので、平日に1日または土日1日、休みをとろうと、努力している。
- 私立学校はどうなのか、ちゃんと守っているのか。勝ちたいという大原則があるので、高体連の会議等でも言っているが、一生懸命していたら、勝たせてやりたいという思いがあるので、私立学校も同じように取り組んでほしいと言われる競技団体もある。ただ、徐々に浸透してきていると感じている。

## 審議事項 「地域スポーツの今後の活性化」について

### 【山口委員】

- スポーツクラブ21ひょうごへの、新体力テストの測定機器等を配付するという報告があった。それをどこに置くか、どういうふうを活用するか、そういう議論があったが、そのあたりについての情報を教えてほしい。

### 【スポーツ振興課】

- 今年度の予算で1クラブ当たり100万円、815クラブ合計で8億1,500万円、予算を確保している。現在、全てのクラブに希望を聞き、体力測定に慣れるグッズは必須項目として、こちらで決定し、50万円はフリーで、815通りの希望を募り、上限100万円として、ほぼ各クラブ、100万円でおさまる仕分けができた。
- 予算は815クラブ用意していたが、およそ15クラブの必要ないというクラブもある。買っても管理する体制がとれないとのことである。これから県で一括して注文して発注するので、今年度内の配付となる。

### 【石角委員】

- スポーツクラブを見て回り、都市部と過疎部では差がある言っていたが、実際、具体的にはどういう感じか。都市部のほうが活発的なのか、それとも過疎部のほうが頑張っているのか。

### 【スポーツ振興課】

- 都市部の方が活発に行われてるところが多い。過疎部については、単純に子供がいないということだったり、運営するスタッフが活動できる状況ではないといった、根本的に運営が難しいという現状が見られた。

### 【平野委員】

- 1つのアイデアとしては、大学との連携。大学はスポーツ指導者の養成もしており、研究もしているので、体力測定の実具があれば、データをとらないと、やる気も出てこない。
- 地域ごとの特色ある取り組みをする仕組みとして、山口会長がおっしゃった、法人としての組織とした後、スタッフについて大学との連携を考えていくことと、研究も入れていく。大学生、大学院生は統計的に、「伸びた。これだけ肥満がなくなった。」という目に見えるものがあると動きやすい。スタッフは大学の力を借りていくこと、ボランティアもそうだし、教員養成系もある。
- 地方が、栄養状態と運動の状態が都会より落ちてきていると、報告を受けている。働き方改革で早く家に帰るのはいいが、夜食が非常にふえている。夕食は6時ぐらいに終わっているが、おやつを夜中に家族で食べるということ、ここ二、三年、報告を受けている。あいた時間にスポーツクラブで過ごすのか、休日を過ごすのか、今がチャンスでもある気がする。欧米のような…スポーツクラブで、0歳から100歳までが運動するのは、地域のほうが仕掛けとしてはやりやすいと感じている。

### 【山口委員】

- 昨年、大学と協定が結ばれている。兵庫体育・スポーツ科学学会という県内の研究、大学に勤める、あるいは研究所に勤めている人の学会とスポーツクラブ21全県連絡協議会。その後、何か動いたと聞いておらず、課題だと思っている。何か動いているか。

### 【スポーツ振興課】

- 協定は結んでいるが、スポーツクラブからの提案という意味では、学会に待ってもらっている状況だ。こちらからどういうアプローチをして、どういった支援をしてもらうか、詰めていかなければならないというのが、今後の課題だと思っている。例えば大学の学生に指導者として地域スポーツクラブの練習会場に来てもらうとか、具体の案として提示できるように進めたい。

### 【小林委員】

- 競技団体もそうだが、やはりスポーツをするためのモチベーションが子供には一番必要だ。人数が少ないと、やる気もなくなってしまう。それはスポーツを楽しむところでもあるし、本当に世界を目指す選手もそうだ。練習パートナーは本当に必要で、たくさんの方がいる中で競い合う、自分の技量を伸ばしていくのが必要だ。特色を持ち、人を集めて、その中でスポーツをする、競技力を高めることを目指してほしい。

### 【吉矢委員】

- ワールドマスターズも含めた大会についての医学面からのサポートに、医師会の力が大きいと思う。それぞれの医師会に、スポーツ担当の役員がいる。地域によって差はあると思うが、かかわりを深めていくのが、先々のこと考えても大事だ。

**【倉委員】**

- 郡部と都市部が同じようにいくのは非常に難しく、物理的に無理な部分が起こっており意識の違いがある。スポーツを実施するのにも、人数が集まらず、どんどん衰退しているのが現状だ。少子化で、子どものスポーツ活動も減っている。
- クラブの特色ある取組にも示されている「託児つきスポーツ教室等の開催」や、お母さんと一緒にできるような活動をすることで、子どもたちが動くことの楽しさや、お母さんと一緒にすることの喜びや楽しみを味わうと共に、お母さんが地域につながっていることを感じる必要があるのではないか。

**【榎並委員】**

- スポーツクラブ 21 ひょうごで、地域の方は頑張っているが、子供が集まらない。子供が集まらない種目が減っていく。そうすると小学校から中学校に上がって、やりたいスポーツができない。また中学校も子供が減っているので、やりたい部活動がないという現実がある。
- うちの地域では、野球を、小学校以下の子供たちを集めて、地域の方が活性化しようとしている。もともと藍地区は野球が盛んで、野球とサッカーという地域だったが、どちらも人数が集まらない中学校の現状がある中で、小さい内からいろんなスポーツにかかわっていくことも、地域の方が取り組んでいるので、一緒に応援したいと思っている。
- 小学校や中学校でも、社会体育に行く。部活がないから社会体育で、サッカーをしに行くとか、そういう子たちもふえている。自分たちの地域でできる条件ができたらいと感じている。

**【増田委員】**

- 障害者スポーツの地域振興は、推進員の方たちが、いろいろとチャレンジしても難しいと感じる。県下には 1,200 人近い障害者スポーツ指導員がいて、それを 9 地区に分けて、地域で掘り起こしをしている。
- 明石市教育委員会は、今年、小学校全校にボッチャを配布した。来年度は全中学校に配る。そういうアクションがうまく起きている。
- 体育保健課でオリンピック、パラリンピアンへの依頼というアクションが起きている。加古川だけでも今年 30 校の相談依頼を受けていて、30 小学校でパラリンピアンではないが、地域にいる障害者の方が活動する学校との接点をつくっている。県下だけで 100 校以上、こういう事業に取り組んでいる。

9 閉会あいさつ 長島スポーツ振興課長

10 閉 会

**【署名委員】**

氏名 小林 芳子 

氏名 増田 和茂 

**[報告事項(1)] 新型コロナウイルス感染症への対応状況について**

## 【報告事項(2)】令和2年度の事業概要について

### 1 スポーツ振興課

#### ○ 「スポーツ立県ひょうご」の実現

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化を確立することにより、一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現を目指す。

#### 1 生涯スポーツの推進

地域におけるスポーツ活動を活性化し、誰もが参加できる生涯スポーツ大会や「スポーツクラブ 21 ひょうご」の充実及びスポーツ実施者の更なる増加を図るとともに、県民の自主的・自発的なスポーツ活動に係る諸条件の整備・支援に努め、生涯スポーツを推進する。

##### (1) 「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業 (7, 921 千円)

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」開催に向け、県民誰もが参加できる「関西マスターズスポーツフェスティバル」等を引き続き開催し、生涯スポーツのすそ野を広げる。

##### ① 総合開会式の実施

- 開催日：令和2年5月23日（土）
- 場所：ブルボンビーンズドーム（予定）

##### ② 競技別大会の開催

- 実施時期：令和2年4月～2021年3月
- 場所：県立三木総合防災公園ほか県内各地で開催
- 競技：グラウンド・ゴルフ等 計51競技（予定）

##### ③ 「ひょうご de スポーツ推進月間」の展開

- 街頭キャンペーンの実施  
実施時期：令和2年10月（予定）  
場所：県下10箇所
- スポーツ推進フォーラムの開催  
開催日：令和2年10月25日（日）  
場所：オルビスホール（神戸ファッション美術館5階）

##### ④ 生涯スポーツ指導者等の充実

- 生涯スポーツ指導者地区別研究会  
実施時期：令和2年5月～12月  
対象者：スポーツ推進委員、スポーツクラブ 21 ひょうご関係者等
- スポーツ推進委員中央研究協議会  
開催日：令和2年10月25日（日）  
場所：オルビスホール（神戸ファッション美術館5階）

**(2) 兵庫県スポーツ推進審議会 (260 千円)**

県民のスポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。

実施時期：令和2年9月（予定）、令和3年3月（予定）

**(3) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業 (2,925 千円)**

生涯スポーツの核となる「スポーツクラブ21ひょうご」について、全県スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等を図るなど自主自立に向けた取組を支援する。

**① 推進会議の開催**

○ 内 容 クラブの現状及び課題解決に向けた協議

**② 全県スポーツサミットの開催**

○ 対 象 スポーツクラブ代表者、スポーツ推進委員、企業・大学関係者 等

○ 内 容 情報交換、事例発表 等

**③ 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト**

だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりに向け、各地区において「スポーツクラブ21ひょうご」が取り組む。

○ 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催

○ 障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催

○ 親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

**(4) ひょうご・ロシアハバロフスク青少年スポーツ交流事業 (1,778 千円)**

友好提携40周年を機に、兵庫県とハバロフスク地方とのスポーツ交流を行うことにより、両県交流の更なる発展を図る。

交流期間：令和2年8月（5泊6日）（予定）

内 容：スポーツを通じた国際交流、ロシア文化体験 等

**(5) 兵庫県山の遭難対策協議会 (5 千円)**

山の遭難の未然防止および救援対策を協議する。

実施時期：令和2年6月、11月（予定）

**(6) ワールドマスターズゲームズ2021 関西の開催準備 (98,831 千円) 【拡】**

令和2年2月からの参加者エントリー開始を受け、WMG2021 関西大会の更なる機運醸成と参加者獲得を目的とした取組を行う。また、WMG2021 関西組織委員会等と連携した大会運営を行うため、具体的な開催準備に取り組む。

**①大会運営**

ア 実行委員会等各種会議の開催

イ 新安全対策等に係るマニュアルの作成

大会運営や競技実施に必要な医療救護や危機管理、安全対策に関するマニュアル作成

## ②競技運営

### ア 新クレール射撃会場の設営

岡山市で開催するクレール射撃競技の現地事務所を令和2年10月に開設し、大会運営に向けて地元警察、消防等関係機関と協議・調整

### イ リハーサル大会の実施

兵庫県開催競技団体と開催市町に係る国際大会としての運営ノウハウ取得及び海外選手へのPRを目的に、海外選手や障がい者も参加するリハーサル大会を開催

### ウ ボランティアセンターの開設

県実行委員会が開設するボランティアセンターで、大会運営を支えるボランティアの募集、業務別研修等を実施

### エ 兵庫県開催オープン競技メダル制作

県内の高校生からの公募により決定したデザインを基にメダルを制作

## ③広報

### ア 1年前イベント及びPRイベントの実施

令和2年5月に一般県民対象の競技体験会や「神戸まつり」でのパレード参加、スペースシアターでの開催200日前イベントなどでPRを実施するとともに、1年前イベントに併せて関西大会のPRイベントや開催競技の体験会等を実施

### イ ホームページ（HP）等による広報

HPの保守、改修（多言語対応、ボランティア、観光事業、オープン競技）及びSNSの管理及び発信

### ウ 県外参加者の参加促進

兵庫県開催の各競技団体から、それぞれの中央競技団体に対して大会PRを依頼し、本県開催競技への全国からの参加を促進

## (7) ひょうご女性スポーツの会の活動支援（5,000千円）

ワールドマスターズゲームズ2021関西への参加を促進し、女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツ人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会の活動を支援

### ○ 総会・総合開会式の開催

記念講演、スポーツ界著名人によるシンポジウム等

### ○ 競技別大会の実施

各競技団体による冠称大会への補助

### ○ 研修会の実施

ワールドマスターズゲームズ2021関西への参加促進に向けた競技体験会

## (8) ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業（15,000千円）【拡】

ワールドマスターズゲームズ2021関西大会への県民参加促進のため、地域企業及び大学とスポーツクラブ21ひょうご（SC21）との連携チーム設立支援やワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）の新チーム設立支援等を実施

### ○ 企業・大学とSC21の連携強化及びSC21新規会員獲得支援

企業・大学に所属する社会人とSC21による連携チーム設立を支援

・ 補助対象 運動用具等経費（上限200千円）

・ 補助件数 20チーム

- ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の開催競技人口増加に向けた取組  
SC21会員が、現在取り組んでいる競技とは別に、新たにワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）に取り組む場合の新チーム設立を支援するとともに、現在取り組んでいる競技でのWMG2021関西への参加を支援
  - ・補助対象 運動用具等経費（上限：新チーム設立200千円、既存種目100千円）
  - ・補助要件 ワールドマスターズゲームズ2021関西への大会参加
  - ・補助件数 80チーム（新チーム設立30チーム、既存種目50チーム）
 ※新チームの設立支援は1クラブにつき、1チームに限る

**(9) 第74回全国レクリエーション大会の開催支援（650千円）【新】**

生涯スポーツ・生涯学習の振興及び生きがいある社会の形成と健全な心身の維持・向上を図るため、誰もが参加できる唯一の全国規模のレクリエーション大会の本県開催を支援する。

- ・大会名 第74回全国レクリエーション大会 2020 ひょうご
- ・開催日 令和2年11月13日(金)～15日(日)
- ・開催場所 姫路市文化センター 他

**(10) 関西シニアマスターズ大会兵庫大会の開催（6,650千円）【新】**

スポーツ愛好者の誰もが参加できる国際総合競技大会、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を契機とする生涯スポーツの機運の高まりを継続的なものとし、元気で活力のある健康長寿社会の実現など地域の活性化を進める必要があることから、中・高年のスポーツ参加機会の拡充を図るため、関西広域連合では「関西シニアマスターズ大会」を開催する。

- ・開催競技 卓球、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、サッカー、テニス、ソフトテニス、ゲートボール（7競技）
- ・参加資格 60歳以上の関西広域連合構成府縣市在住の者
- ・開催時期 令和2年10月～11月（各競技ごとに調整）
- ・開催場所 調整中

**(11) 地域スポーツ在り方検討委員会（仮称）【新】**

各「SC21」の現状と地域の実情を元に、これからの地域スポーツの在り方を図る協議等を実施

- ・開催回数 5回（予定）
- ・出席者 有識者（スポーツ社会学等）、「SC21」関係者、県内スポーツ関係者、民間スポーツクラブ（NPO等）、行政等（予定）

**2 競技スポーツの推進**

（公財）兵庫県体育協会及び各競技団体と連携して、選手発掘からトップアスリート育成までの系統的な指導体制を構築するとともに、本県の競技力向上に努め、オリンピックや国際大会等で活躍する選手を育成し、県民スポーツの推進に寄与する。

**(1) 第2期新兵庫県競技力向上事業（世界にはばたけ兵庫プロジェクト）（226,048千円）【拡】**

「東京オリンピック・パラリンピック」を契機に、北京五輪・パリ五輪を見据えたトップアスリート層の拡大、ジュニア選手の発掘・育成、若手指導者の資質向上を図るため、選手の発掘からトップアスリートの育成までの系統的な指導体制の構築を目指す。

**〔選手強化事業〕**

**① 未来のスーパーアスリート支援事業**

国際大会や全国大会に出場する中高生・大学生等を擁する競技団体に選手強化方策等を提案させ、高い効果が期待できる取組に対して支援を行う。

○ スーパーアスリート養成

- ・ 事業内容 トップチーム・指導者を招聘しての合宿練習会 等

○ 医・科学サポート

- ・ 事業内容 フィジカルトレーニング、栄養学の直接指導等

○ 能力発掘・育成

- ・ 事業内容 競技人口が少なく、中学生から競技に取り組んでもトップを目指すことができる競技を対象に、競技転向型の発掘・育成を実施

**② 重点競技強化事業**

好成績が期待できる競技を特別強化競技に指定し、重点的に支援するほか、国体競技以外のオリンピック競技に対して支援する。

○ 特別強化対象競技（13競技）

ウエイトリフティング、テニス、柔道 等

○ オリンピック対象強化競技（5競技）

自転車女子、ラグビー女子 等

**③ 一般強化事業**

41競技団体の競技力向上に向けた取組を支援する。

**④ 選手サポートプログラム**

大学研究機関と連携し、能力トレーニングの開発及び測定を実施する。

**⑤ 指導者養成プログラム 等**

高い競技実績を誇る国等へ指導者を派遣し、調査・研究を実施する。

**⑥ 国民体育大会 団体競技強化プロジェクト**

国体競技別総合成績で常時入賞している他府県の強豪チームとの強化試合・合宿や県内練習会を実施し、国体団体競技の強化を図る。

○ 対象競技団体

得点実績や戦績等を鑑み、団体競技において得点が期待できる競技種別

**⑦新 ふるさと選手活用促進プロジェクト**

国体のふるさと制度を活用し、他都道府県に進学または就職した本県ゆかりの有望選手の国体への参加を支援

○ 対象

ふるさと制度が適用される選手で、競技団体から推薦のあった者

- 対象競技  
過去3か年で得点獲得をしている競技
- 内容  
遠方に居住するふるさと選手に対し、本県で行う強化合宿等にかかる経費の一部を補助

**[選手育成事業]**

**① タレント発掘事業等**

- ひょうごジュニアスポーツアカデミー（4年生以上の小学生対象）
  - ・ 大学や関連スポーツ団体との連携による継続した育成、オリンピック選手等を講師とするスポーツ教室の実施等

**② 育成・すそ野拡大事業**

- ジュニアスポーツ教室（小・中学生対象）
  - ・ 才能ある選手を発掘・育成するための合同練習会の実施

**③ ジュニア層を対象としたトップアスリート等による特別強化事業**

将来、国体等で活躍が期待される中学生を対象に、トップアスリート等からの集中的なレッスンによる特別強化を実施

**④ 指導者育成・広報等**

若手指導者を中央競技団体等が主催する研修へ派遣

**(2) 県民体育大会の開催及び国民体育大会への派遣（58,506千円）**

名 称	実施時期	場 所	対 象
第74回兵庫県民体育大会	4月～3月	県内	競技種目選手
第75回国民体育大会 近畿ブロック大会	6月20日(土)～12月6日(日)	滋賀県他	県代表選手
第75回国民体育大会	9月12日(土)～20日(日) 10月3日(土)～13日(火)	鹿児島県	
第76回国民体育大会 冬季大会	スケート・アイスホッケー競技 1月27日(水)～1月31日(日) スキー競技 2月18日(木)～21日(日)	愛知県 岐阜県 秋田県	

**(3) 兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰**

オリンピックや世界選手権等の国際大会、また、国内大会等において優秀な成績を収めた本県のスポーツ選手を讃える。

開催時期：令和3年2月（予定）

**(4) 東京オリンピック・パラリンピック応援事業（145,931千円）【拡】**

県のスポーツ振興や地域の活性化など成果を上げるとともに、その活力を翌年のワールドマスターズゲームズ2021関西の成功につなげるため、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレー出発式及び事前合宿を実施する。

事前合宿については、フランスの陸上競技や柔道等を実施し、ホストタウンとして交流事業を三木市及び姫路市等とともに行うことで、県民のスポーツに対する理解と関心を深める。

さらに、全国都道府県を回る聖火リレーが兵庫県で2日間（令和2年5月24日と25日）実施され、1日目の24日は豊岡市の六方防災ステーションで、2日目の25日には神戸市の兵庫県庁前において出発式を行うため、その具体的な準備・運営に取り組む。

(1) 聖火リレー

ア 担当者会議

(ア) 県実行委員会：県内全市町関係者と有識者等の会議

(イ) 合同連絡会：県・市町関係者の連絡調整

イ 出発式の開催（豊岡市：六方防災ステーション・神戸市：兵庫県庁前）

(ア) 司会者選定

(イ) ステージプログラム運営・進行・進行台本作成

(ウ) 警備・安全管理

(エ) ステージ設営

(オ) 出発式告知横断幕等作成

(2) 事前合宿

ア フランス陸上の国内移動費・宿泊費等を兵庫県が負担

イ フランス柔道の国内移動費・宿泊費等を兵庫県と姫路市で負担

ウ 県立尼崎スポーツの森での水泳事前合宿（ウクライナ等）の施設使用料等を兵庫県が負担 等

**(5) はばタンスポーツ基金活用事業（6,000千円）**

「はばタンスポーツ基金」を活用した運営費の補助により、国際大会及び全国規模の大会を誘致し、本県の競技力の向上に資するとともに、県民に質の高い競技を観戦する機会を提供する。

**3 神戸マラソン第10回記念大会の開催**

**（88,883千円：負担金68,883千円、ふるさとひょうご寄附金：20,000千円）**

県民スポーツの振興を図り、震災の復旧・復興における支援への感謝、兵庫・神戸の魅力国内外に発信するため、10回の節目を迎える神戸マラソンを記念大会として神戸市と共同で開催する。

**(1) 大会概要**

① 期 日

ア ランナー受付・EXPO 令和2年11月13日(金)、14日(土) 神戸国際展示場

イ 大会 令和2年11月15日(日)

9:00～スタート(ウェーブスタート) 16:00 終了

② テーマ 「感謝と友情」

キャッチフレーズ：「ありがとう」を、未来へつなごう。

③ 種 目 マラソン(42.195km) (定員：20,000人) 制限時間：7時間

④ コース スタート：神戸市役所前

折り返し：明石海峡大橋の西方（垂水区西舞子1丁目付近）

フィニッシュ：ポートアイランド市民広場付近

- ⑤ 主催 兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、  
一般財団法人兵庫陸上競技協会
- ⑥ 共催 神戸新聞社、朝日新聞社

## (2) 第10回大会の重点取組

神戸マラソン中期計画（第10回大会までの取組目標）を踏まえた取組の推進

### ① ランナー2万人に対応した安全・安心な大会運営の推進

ア ウェーブ（時間差）スタートの改善（継続）

（目的）スタート時やコース途中の混雑緩和

（内容）必要に応じて記録証の提出を求め、記録に応じたスタートブロックの細分化によりさらなる混雑緩和を検討

イ 警備・救護体制の充実（継続）

（目的）テロ・災害・大事故、重症事案（心肺停止等）への対応

（内容）①緊急時対応訓練の継続

②関係者の役割分担の確認と相互連携の強化

### ② 挑戦するランナーを支援する出場枠・表彰の設定等 [チャレンジマインド]

ア 出場枠・表彰の設定

(ア) 神戸マラソン応援ランナー枠(先着400人)（継続）

大会の質向上を目的としたコース改善や国際エリートランナーの招聘等、オンリーワンの都市型マラソン実現に向けた取り組みに賛同し、兵庫県又は神戸市に10万円以上のふるさと納税の寄附者に出走権を進呈

(イ) その他の特別枠と表彰制度（継続）

- ・ シード枠（約400人）：第9回大会成績上位者の参加促進
- ・ 年代別チャレンジ枠（2,000人）：各年代のランナーモチベーションを向上
- ・ キラキラ女子ランナー枠(500人)：女性の参加促進
- ・ 神戸マラソン初出場枠(2,000人)：神戸マラソン初挑戦ランナーを応援
- ・ 連続入賞者表彰制度：総合・年代別の3年連続入賞者を表彰
- ・ LAST SPURT CHALLENGRE：上位ランナーの競技力向上を応援

イ エリートランナーの招聘（拡充）

（目的）大会の質と国際的認知度の向上

（内容）世界陸連による世界の主要ロードレースラベル格付け「シルバーラベル」の取得

### ③ 大会の魅力化・ブランド化の推進 [ホスピタリティマインド]

ア 兵庫・神戸の特性を活かした企画（継続）

ファッション・ジャズ・グルメ・スイーツ等の発信強化

イ 大会認知度の向上に向けた広報の展開（継続）

- ・ 「神戸マラソン・シリーズイベント」に認定した地域のイベントやランニング大会等と連携した大会のPR

- ・ 大会ホームページ、ランニング専門誌、SNS 等での効果的な広報
- ウ 海外居住者の参加促進
  - ・ 在関西領事館の職員等が出走し、国内外に向けての PR を実施（国際交流推進ランナー）（拡充）
  - ・ 海外ツアー企画の実施（拡充）
  - ・ 神戸市 PR アンバサダーを活用した PR の実施（拡充）
  - ・ 海外のランニング専門誌、SNS 等での効果的な広報（継続）
  - ・ 海外居住者のエントリーの先着制・期間延長（7月上旬→7月末）（継続）
  - ・ 海外ランナーエントリー時の宿泊予約・ツアーの造成（継続）

#### ④ 震災復興の教訓と感謝を国内外に発信【ボランティアマインド】

- ア スタートセレモニー（継続）
  - ・ 黄色の手袋を着用してランナー「2万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」
  - ・ 合唱「しあわせ運べるように」
- イ コース沿道（継続）
 

黄色の手袋や応援グッズを使ってボランティアや沿道応援者等「みんなで咲かせる『感謝と友情』のひまわり」

#### ⑤ 第10回記念事業の実施（新規）

- ア 「神戸マラソンメモリアルファンラン（2,200人）」の開催
 

年齢・性別に関わらず、多くのランナーが参加できる「ファンラン」を企画し、神戸マラソンの意義を広く周知するとともにファン層の拡充を図る。
- イ 連続落選者枠（1,500人）の設定
 

第5回大会から第9回大会まで5年連続落選を続けるランナーに救済枠を設けることで、ランナー離れを食い止め、ファン層の拡大を図る。
- ウ 三都マラソン連携事業
 

関西圏の神戸・大阪・京都で開催される都市型マラソンが「三都マラソン」として連携を図り、国内外に広く三都マラソンの魅力を発信する。
- エ 兵庫五国の食材を活用した魅力発信
 

県内特産物を使用した食物を提供し、食材を通じた兵庫五国の魅力発信を強化。
- オ WMG2021 関西と連携した広報活動
 

WMG2021 関西兵庫実行委員会と連携し、相互に大会を盛り上げる。
- カ 記念グッズの作成・販売
 

第10回大会記念のロゴを作成し、すべての作成物にロゴを入れる。また、第10回大会限定のグッズを作成し、EXPOオフィシャルショップで販売する。

## 2 体育保健課

### ○ 体育・スポーツ活動の推進

#### 1 基礎体力づくりの推進

##### (1) 「体カアップひょうご」サポート事業の実施 (7,789 千円)

「運動プログラム」(DVD)の更なる活用を促進するとともに、小学校のニーズに応じた体カアップサポーターや新体カテスト測定支援を行う体カアップアドバイザーを派遣し、体育授業及び学校体育活動における体育・スポーツ活動を支援し、児童の体力・運動能力の向上を図る。また、県下児童生徒の体力・運動能力等の調査を行い、その実態を把握し、今後の施策の基礎資料を得る。

##### ① 体カアップサポート専門家会議の開催 (7月・12月・3月)

##### ② 小学校への体カアップサポーターの派遣

対 象：小学校 約70校

##### ③ 新小学校への体カアップアドバイザーの派遣

対 象：体力向上が期待できる8市町

##### ④ 「体カアップスクール表彰」の実施

対 象：体力向上に積極的に取り組み、成果を上げた小・中学校10校程度

##### ⑤ 体力・運動能力調査統計事業の実施

対 象：小・中・高校生 約30,000人

実施時期：令和2年5月～7月

#### 2 学校体育の指導

学習指導要領の趣旨の徹底と指導方法の研究を深め、心身ともにたくましく、活力ある生徒を育成するため、年次計画により県立高等学校を訪問し、学校体育の実態把握と学校指導の充実を図る。

また、各種講習会を開催し、指導力の向上を図る。

##### (1) 県立高等学校訪問指導の実施

対 象：約30校

実施時期：令和2年5月～11月

##### (2) 学校体育に関する講習会、協議会の開催

名 称	実施時期	場 所	対 象
県立学校体育主任会	5月12日	兵庫県民会館	県立学校体育主任
市町組合教育委員会学校体育担当者連絡協議会	5月19日	兵庫県民会館	市町組合教育委員会担当者等
学校体育実技(武道)認定講習会	8月3日～5日	ウイंक武道館	(柔道)
	8月17日～19日	ウイंक武道館	(剣道)
学校体育実技ダンス講習会	8月3日～4日	ウイंक武道館	(ダンス)
学校体育実技指導者講習会	9月16日～17日	県立総合体育館	幼・小・中・高校保健体育担当教員

##### (3) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業

幼稚園教員及び小学校教員を対象にした体育実技講習会を実施し、指導内容及び指導方法の研修を行い、指導力の向上を図る。

実施時期：令和2年5月～12月

場 所：県内5ブロック単位

#### (4) 武道・ダンス指導者の養成等指導力の向上 (3,092千円)

中学校学習指導要領を踏まえ、中学校教員を対象にした武道・ダンスの実技講習会を実施し、指導力の更なる向上を図る。

実施時期：令和2年8月上旬～8月中旬

場 所：ウインク武道館

#### (5) 第58回県学校体育研究発表大会の開催

学校体育の実践発表を通して、県内各地区、各校種間の交流と連携を図ることにより、教職員の資質向上と体育・保健体育指導の理解を深める。

実施時期：令和3年2月4日

場 所：兵庫県看護協会ほか

#### (6) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業 (6,440千円)

本事業の「教育推進校でのオリンピック・パラリンピック教育」を展開し、学校の実情や実態に応じて、多面的な観点（する・みる・支える・知る）から、主体的にスポーツの価値を深め、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等に取り組み、オリンピック・パラリンピック開催に向けて機運醸成を高めるとともに、今後、その成果を広く情報共有する。

##### ① 教育推進校の指定

指定校数 19校〔小学校及び中学校から12校、県立高等学校から7校〕

指定期間 指定のあった日から令和3年1月31日まで

##### ② 事業経費について

予算の範囲内（14万円程度を予定）で事業に要する経費を委託費として支出する。  
（諸謝金※、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額）

※ 諸謝金の上限：100,000円

兵庫県ゆかりのオリンピック・パラリンピアンを中心に上記金額を上限とする。

### 3 運動部活動等への支援

#### (1) 運動部活動活性化推進事業 (18,760千円) 【拡】

専門的な技術指導を受けられない生徒のために、部活動指導員を配置し、運動部活動における生徒の技能向上や生徒が主体的に取り組むことができるようにすることにより運動部活動の活性化を図る。

さらに、専門的な技術指導が困難な運動部顧問を対象に、指導者養成に知見を有する上級指導者による指導力向上研修会を開催するとともに、指導法をまとめた動画を周知することにより、指導力の向上を図る。

① 部活動指導員配置事業 県立学校運動部へ55名

## ② 運動部活動専門家会議の設置

指導力向上研修の内容や部活動指導員の配置効果等を評価・検証する。

構成：学識経験者、部活動指導員、高体連・中体連関係者等

回数：3回

内容：専門的技術指導が困難な運動部顧問の実態や部活動指導員の配置効果に関する評価・検証等を行う。

## ③ 指導力向上研修会

指導者養成に知見を有する上級指導者による研修会を実施し、指導力向上を図る。

## (2) 中学校部活動指導員配置事業（43,556千円）【拡】

適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている市町組合教育委員会を対象に、令和2年度より会計年度任用職員となる部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に該当する者）の配置に係る経費の一部を補助することで、顧問の支援を行うとともに、公立中学校における指導体制の充実を推進し、部活動の質的な向上を図る。

### 【部活動指導員の配置】

#### ① 補助要件

ア 事業主体は、スポーツ庁策定「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を遵守すること。

イ 事業主体は、「地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進めるための計画」の策定に向けた検討組織を設置し、その後、同計画を策定すること。また、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる体制を整える取組には、部活動数の適正化（複数の学校による合同部活動の実施や学校規模等に伴う部活動数の減等の取組）等も含む。

ウ 当該学校において、上記のガイドラインに沿った部活動運営がなされること。

エ 当該学校における教員の勤務時間（特に部活動指導従事時間）を客観的に把握して報告すること。

#### ② 補助対象経費

ア 報酬等の補助上限額は1,600円/時間（社会保険料（本人負担分に限る。）を含む。）とする。

イ 交通費は通勤手当相当が対象であり、大会引率等に係る出張旅費等は対象外とする。なお、交通費を補助対象とする場合、事業主体が人材バンクの立ち上げまたは計画作成を実施し、かつ交通手段は車のみ対象で真に車での通勤がやむ得ない場合に限るものとする。

#### ③ 補助割合

ア 国1/3、県1/3、市町1/3

イ 補助金交付要綱に基づいて、国の補助金認定額を補助する。

#### ④ 補助期間

上記のガイドラインの趣旨を定着させるため、同一校かつ同一部活動での活用は、最長3年とする。

### 【部活動オンラインサポート事業】

地域の人材不足のため、部活動指導員を配置できない学校に対して ICT を活用した専門の指導者による遠隔指導をモデル的に実施し、生徒の技能向上を図る。

- ① モデル校数 3校
- ② 負担割合 県1／3、市2／3

### (3) 県立高等学校運動部指導者表彰

運動部活動の強化と活性化を図るため、運動部の振興発展に功績が顕著な指導者を表彰する。

対 象：全国高等学校総合体育大会や全国高等学校選抜大会等に初出場及び著しく功績のあった運動部活動の指導者

実施時期：令和3年3月

### (4) 総合体育大会の開催支援（5,660千円）

各種大会を援助し、スポーツの振興と競技力の向上を図る。

#### 【大会等一覧】

名 称	実施時期	場 所
県中学校総合体育大会	7月19日～7月30日	丹 有 地 区 他
県高等学校総合体育大会	6月5日～6月7日	県 内 各 地
全国中学校体育大会	8月17日～8月25日	東 海 ブ ロ ッ ク
全国高等学校総合体育大会	7月21日～8月25日	北 関 東 ブ ロ ッ ク 他

### (5) 近畿中学校・全国高等学校総合体育大会兵庫県開催事業（11,099千円）【新】

令和2年度に本県で開催される近畿中学校総合体育大会及び全国で分散開催される全国高等学校総合体育大会を開催する。

- ① 近畿中学校総合体育大会の開催
  - ・ 競技種目 20競技
  - ・ 競技日程 令和2年8月～令和3年1月
- ② 全国高等学校総合体育大会の開催
  - ・ 競技種目 柔道（グリーンアリーナ神戸）
  - ・ 競技日程 8月5日～9日

## ○ 児童生徒等の健康教育・安全教育の充実

### 1 保健管理・保健指導の推進

社会環境の変化に伴い、健康問題等も多様化し、その対応には一層の配慮が必要とされる。そこで、学校保健安全法に基づく幼児・児童生徒の保健管理や保健指導を徹底させるため、保健部長・養護教諭・学校医等を対象とした研修会・講習会を開催し、その資質や指導力の向上に努める。

一方、幼児・児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康診断を実施し、実態把握に努め、適正な管理・指導を推進する。

#### (1) 県立学校訪問指導の実施

対 象：約30校

実施時期：令和2年2019年5月～11月

目的：学校保健の実態を把握し、保健安全指導の充実を図る。

## (2) 保健に関する講習会、研修会等の開催

名 称	実施時期	場 所	対 象
兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会	11月12日	あか と ん ぼ ホ ー ル	小・中・高・特別支援学校 保健主事・学校保健担当者
兵庫県学校保健研究協議大会	11月19日	丹波篠山市立四季の 森生涯学習センター	学校保健・学校給食担当者
養護教諭研修会	4月～3月	県 内 各 地	小・中・高・特別支援学校 養 護 教 諭
薬物乱用防止教室講習会	7月～12月	神戸市（予定）	小・中・高・特別支援学校 薬物乱用防止教育担当者等
性に関する指導・エイズ教育研修会	10月27日	兵庫県民会館 けんみんホール	小・中・高・特別支援学校 性 教 育 担 当 者 等
健康教育研修会	10月27日	兵庫県民会館 けんみんホール	小・中・高・特別支援学校 管 理 職、教 職 員 等
学校歯科保健研修会	9月～3月	県 内 3 会 場	学 校 歯 科 医
学校医研修会	9月～3月	県 内 3 会 場	学校医・学校保健担当者

## (3) 児童生徒等の健康診断の実施（58,398千円）

児童生徒等の健康の保持増進を図るため、各学校において毎年4月～6月の間に実施する。

## (4) 学校健康教育強化事業（1,807千円）

### ① スクールヘルスリーダー派遣事業

児童生徒の多様化する心身の健康問題に適切に対応するため、経験豊かな退職養護教諭を「スクールヘルスリーダー」として学校へ派遣する。

ア スクールヘルスリーダー（退職養護教諭）の派遣

- ・養護教諭等が配置されていない学校への派遣
- ・経験の浅い養護教諭配置校への派遣

イ 協議会の開催

### ② 学校における現代的な健康課題解決支援事業

アレルギー疾患や心の問題等、現代的な健康課題の解決に向け、専門医や関係機関と連携し、学校・地域において適切に対応するための支援体制づくりを目指す。

ア 協議会の開催

イ 研修会等への「課題解決支援チーム（専門医等）」の派遣

### ③ 薬物乱用防止教室推進事業

薬物乱用防止教室講習会の開催

回 数：3回

内 容：薬物乱用防止教室の開催を推進するため、指導者に対しての講習会を実施

## **(5) がん教育総合支援事業（1,000千円）**

学校教育全体の中でがん教育を推進するため、今後のがん教育のあり方について検討するとともに、がん教育の推進体制の構築を図る。

### **① がん教育に関する協議会の開催**

構成：学識経験者、医師会代表、学校保健会関係者、県行政関係者

内容：がん教育の計画及び指導、モデル校の取組検証及び次年度計画への反映

### **② 学校保健関係者・外部講師に対する研修会の開催**

### **③ モデル校の設置**

対象：公立小学校・中学校・高等学校 各2校（未定）

内容：専門家等による講演会、講演のための事前授業、生徒意識調査等

## **2 安全教育の推進**

交通安全、防犯等に関する指導力の向上を図るとともに、校舎内外の施設・設備・通学路等の安全点検を徹底し、学校管理下における事故防止に努める。

### **(1) 学校安全総合支援事業（2,692千円）**

児童生徒自身に安全に対する知識や能力を身につけさせる安全教育の充実や、防犯・交通安全などの学校安全管理体制の構築を図る。

#### **① 希望する市町の学校安全推進のための取組を支援**

実施箇所：市町立小・中・特別支援学校3校及び県立学校3校

内容：学校安全に関する科学技術等を活用した取組を支援  
推進校へ専門的指導・助言を行う専門家を派遣 等

#### **② 研究成果発表会の開催**

回数：各推進校1回

内容：学校安全推進に関わる取組の成果発表

#### **③ 学校安全対策会議の開催**

回数：2回

内容：県内の学校安全推進校の取組を共有及び意見交換・協議等を実施

#### **④ 学校安全教室講習会の開催**

回数：2回

内容：学校安全教室の開催を推進するため、指導者に対し講習会を実施

## **3 学校における食育の推進と学校給食の普及充実**

学校教育活動全体で取り組む食育を実践するため、「学校における食育実践プログラム（改訂版）」を基本に「食育ハンドブック」や「ひょうごの食べ物資料集」等を活用し、食育を推進する方向性や手法、具体例を示すための研修会を開催するなど、県学校給食・食育支援センター等とも連携しながら、全ての学校でのより充実した食育の推進を図る。

また、食事内容の多様化と望ましい食習慣の形成に配慮した学校給食の充実に努める。

### **(1) 学校教育活動全体で行う食育の推進（824千円）**

#### **① 食育実践推進に関する有識者会議の設置**

教育活動全体を通じて行う食育実践方法を検討するとともに、その周知を図る。

② **学校給食衛生管理推進研修事業**

学校における食育の「生きた教材」としての学校給食を充実させるため、学校給食調理従事者及び栄養教諭等の資質向上を目的とした研修会を実施する。

実施時期：令和2年7～8月

場 所：阪神地区・播磨東地区・播磨西地区・但馬地区・淡路地区

③ **「食育ハンドブック（中学校版）」活用推進委員会の設置【新】**

令和元年度に作成・配布する、中学校での食育の取組をさらに推進するための学校教育における取組事例等を示した「食育ハンドブック（中学校版）」を効果的に活用するため、研修会で活用方法等を周知する。

- ・「食育ハンドブック（中学校版）」の検証および活用のための方策の研究
- ・「食育ハンドブック（中学校版）」活用推進研修会の開催（年2回）

(2) **栄養教諭実務研修会の開催**

実施時期：令和2年11月

場 所：神戸市

(3) **学校給食の指導及び調査**

学校給食の実態を把握するとともに、学校給食の充実を図る。

学校給食施設の衛生管理等に関する状況調査を行うとともに、衛生管理の徹底が図られるよう改善指導を行う。（文部科学省「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」）

(4) **県学校給食・食育支援センター（県体育協会）の運営指導**

学校給食用物資供給体制の整備及び学校給食の普及充実を図るとともに、市町・学校等の食育推進に対する支援を行う。

設置場所：兵庫県加東市山国 2007

(5) **米飯給食・地場産物活用の推進**

週当たりの米飯回数において、全ての市町が3回以上となることを目標に米飯給食を推進するとともに、学校給食における地場産物の活用を推進する。



## ○ 体育施設の整備及び管理運営（630,058千円）

青少年をはじめ広く県民の心身の健全な発達と健康で文化的な生活の向上に寄与するため、県民の体力づくりの場として、手軽に利用できる健康増進のための施設を運営し、その整備を図る。

また、市町における体育施設の整備促進を図るため、国の学校施設環境改善交付金の調整を行う。

### （参考）所管施設一覧表

名 称	所 在 地 (電 話)	施 設 の 概 要	宿 泊 定 員	休 館 日	指 定 管 理 者 (指 定 管 理 期 間)
県立総合体育館	西宮市鳴尾浜1-16-8 (0798-43-1143)	大・中・小体育室、格技室、トレーニング室、宿泊室、研修室、ランニングデッキ	人 400	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	ひょうごスポーツ ライフグループ (R2～6)
県立文化体育館 (神戸常盤アリーナ)	神戸市長田区蓮池町 1-1 (078-631-1701)	多目的ホール、小ホール、 研修室・会議室、トレー ニング室、プール、体育室	—	年末年始、 第1月曜休館	ミズノグループ (H28～R2) 【ネーミングライツ 実施施設】 学校法人玉田学園 (R2～4)
県立海洋体育館	芦屋市浜風町30-2 (0797-32-2255)	管理棟、艇庫(2)、陸置 場、貸出用ヨット・カ ヌー・ボート	—	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	(公財)兵庫県体育協会 (R2～6)
県立円山川公苑	豊岡市小島1163 (0796-28-3085)	美術館、会議室、プール兼 スケート場、貸出用ポー ト、芝生広場	—	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	兵庫県体育協会 円山川公苑グループ (H28～R2)
県立奥猪名健康の郷	川辺郡猪名川町杉生 字奥山1-22 (072-769-0485)	管理棟、体育館、ロッジ (5)、テニスコート(2)、 フィールドアスレチック、 イベント広場	182	年中無休	奥猪名みらい 創造プロジェクト (H28～R2)
県立武道館 (ウイック武道館)	姫路市西延末504 (079-292-8210)	第1道場、第2道場、展 示・情報コーナー、トレー ニングルーム、研修室	—	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	兵庫県体育協会 県立武道館グループ (H28～R2) 【ネーミングライツ 実施施設】 株式会社姫路ケーブル テレビ (H30～R2)
県立兎和野高原 野外教育センター	美方郡香美町村岡区 宿791-1 (0796-94-0211)	管理棟、宿泊棟(184人定 員)、体育館、食堂・浴室棟、 野外学習棟、運動広場、キャ ンプ場(第1～第4) 木の殿堂、自然とのふれあ いの森	644	年末年始休館 (木の殿堂は 月曜休館)	香美町 (R1～R3)
県立弓道場	明石市明石公園1-27 (078-913-0501)	近的10人立・遠的6人立射 場兼管理棟、あづち、矢取 道	—	年末年始、 月曜休館	(公財)兵庫県体育協会 (H30～R2)
県立神戸西テニスコート	神戸市西区玉津町森 友7-1 (078-924-4544)	テニスコート(7)、クラブ ハウス	—	年末年始、 第1火曜休館	(株)ITC (H28～R2)

### 3 ユニバーサル推進課

#### 1 障害者のスポーツ活動等の推進

##### 障害者スポーツの振興

「のじぎく兵庫大会」（第6回全国障害者スポーツ大会）を記念したスポーツ大会の実施等により、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者の社会参加と県民の障害者への理解を促進する。

#### (1) 第14回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催（5,023千円） 令和2年度開催計画

開催期日	実施競技等		開催場所
	競技	対象	
4月26日(日)	陸上競技 フライングディスク	車いす使用者	神戸市
5月10日(日)	水泳	身体・知的障害者	三木市
5月15日(金)	一般卓球	精神障害者	神戸市
5月16日(土)	一般卓球	身体・知的障害者	
5月17日(日)	ボウリング	知的障害者	
5月30日(土)	陸上競技	身体・知的障害者	加古川市
	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	三木市
	ソフトボール サッカー	知的障害者	
5月31日(日)	バスケットボール バレーボール	知的障害者	神戸市
	6月5日(金)	サウントーテーブルテニス	
9月12日(土)	ボッチャ(プレ大会)	身体障害者	
11月20日(金)	バレーボール	精神障害者	

#### (2) 障害者スポーツを支える施設環境の整備（84,697千円）

障害者スポーツの中核拠点として「県立障害者スポーツ交流館」及び「ふれあいスポーツ交流館」を運営するとともに、「ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）」を整備する。

##### ① 県立障害者スポーツ交流館（48,935千円）

設置場所：県立総合リハビリテーションセンター内

施設内容：体育室、トレーニング室

② ふれあいスポーツ交流館（35,762千円）

設置場所：県立西播磨総合リハビリテーションセンター内  
施設内容：体育室、温水プール、トレーニング室

③ ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）（令和5年度供用開始予定）

（令和3年度～令和4年度債務負担行為3,196,125千円）

設置場所：県立総合リハビリテーションセンター内  
施設内容：体育室、温水プール、卓球室、アーチェリー場、トレーニング室

**(3) 第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への選手派遣・育成  
(24,175千円)**

鹿児島県で開催される第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため、育成強化を図る。

大会期間：令和2年10月24日（土）～26日（月）

開催場所：県立鴨池陸上競技場（鹿児島市）ほか

委託先：公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

派遣人数：約150名（予定）

**(4) 第32回全国車いすマラソン大会の開催（3,944千円）**

車いすマラソンを通じて、体力の維持増進、社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深める。なお、今大会からはフルマラソンに代えて、ファンラン（3km）を新設する。

開催日：令和2年9月27日（日）

開催場所：篠山城跡マラソンコース

委託先：公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

**(5) 「はばタンスポーツ基金」事業の実施（2,099千円）**

のじぎく兵庫国体・のじぎく兵庫大会を記念して造成された「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、競技別全国大会への派遣及び競技団体設立等の支援を行う「はばタン障害者スポーツ振興事業」を実施する。

実績：29件（見込み）（令和元年度）

**(6) 「スペシャルオリンピックス支援・ひょうごトーチラン2020」の実施（500千円）**

スペシャルオリンピックス活動への理解促進と、学生ボランティア等の障害者支援のための人材育成、全国大会に兵庫県から出場するアスリートの応援等を目的として、トーチランの開催を支援する。

開催時期：令和2年秋頃

## (7) 「障害者スポーツ推進プロジェクト」の実施 (56,521千円)

東京2020パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、県内の障害者スポーツの振興を推進するため、選手強化育成、環境整備等を実施

### ① (拡) ワールドマスターズ・パラリンピック推進事業

- ・ (拡) 参加型プレイベントの開催  
しあわせの村スポーツフェスティバル (神戸市との共同開催)  
(拡) 東京パラリンピック開催記念スポーツ交流大会
- ・ 一般スポーツ団体との合同練習会、記録会等の実施  
障害者スポーツの理解浸透、競技能力の向上
- ・ 障害者スポーツ種目の拡大に向けた出前講座の実施 (20箇所)
- ・ 障害者アスリートへの支援  
マルチサポートプロジェクトの展開

### ② (拡) 東京パラリンピック準備事業

- ・ (新) 東京パラリンピック出場決定選手への支援  
東京パラリンピックへの出場が決定した県内居住選手に対し、義足、車いす等の用具購入、修理費、個人コーチ費用、合宿費等を支援 (上限額300千円)
- ・ 県パラリンピック聖火フェスティバル兵庫県実行委員会の設置

### ③ (拡) WMG2021関西準備事業

- ・ 特例子会社向けWMG普及出前講座 (15社)  
県内の特例子会社の従業員 (障害者) に対して、障害者スポーツの出前講座を実施
- ・ WMG2021関西開催記念障害者スポーツ体験イベント (8種目)  
障害者トップアスリートの指導の下、複数種目を体験できる障害者スポーツイベントを実施
- ・ (拡) 障害者スポーツ支援団体向けWMG2021関西参加促進支援 (20団体)  
障害者スポーツ競技団体等に対して、WMG2021関西大会の関連スポーツイベント開催等に要する費用を助成
- ・ (拡) WMG2021関西障害者スポーツ出場者準備支援 (250人)  
障害者手帳を有する県内在住の大会出場申込者に対して、競技力向上に向けた強化活動を支援

### ④ (拡) 障害者スポーツ推進拠点整備事業

- ・ (新) 体育館等バリアフリー化  
障害者スポーツ応援協定団体のうち、障害者スポーツ競技者に練習場所の提供による支援を行う民間団体が所有する体育施設を対象に、段差解消等にかかる経費の補助 (補助単価500千円)
- ・ 障害者スポーツ推進拠点支援員の設置  
競技指導・助言、利用にかかる各種事務手続き

## [審議事項] 令和2年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

### [根拠] スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあつては教育委員会がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。

### 兵庫県スポーツ推進審議会条例（平成23年10月7日条例第41号）

第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項

(千円)

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補 助 率	R 1 補 助 金 額	R 2 補 助 金 額	増減額	所管課
1	公益財団法人 兵庫県体育協 会	<b>公益財団法人兵庫県体育協会運営費補助</b> 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発 育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本 県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚 及び福祉の増進に寄与することを目的とする 当該協会に対し、運営費の一部を補助する。	定 額	44,446	45,845	1,399	体育 保健課
2	公益財団法人 兵庫県体育協 会	<b>第2期新兵庫県競技力向上事業</b> 選手の発掘からトップアスリート育成まで の計画的な指導体制を構築することにより、 次世代を担うジュニアアスリートを育成し、 競技人口のすそ野を拡大するとともに、トッ プアスリート層の拡大を図るため新兵庫県競 技力向上事業の成果を基盤に、更なる育成・ 強化事業を推進する。 ※国体のふるさと制度を活用し、他都道府 県に進学または就職した本県ゆかりの有望選 手の国体への参加を支援するため、「ふるさと 選手活用促進プロジェクト」を新設	定 額	226,048	226,048	0	スポ <sup>°</sup> ーツ 振興課

(次頁へ)

3	公益財団法人 兵庫県体育協 会	<p><b>国民体育大会兵庫県選手団派遣事業</b></p> <p>国民体育大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。</p> <p><b>【国民体育大会】</b> 鹿児島県 (冬季) 愛知県・岐阜県・秋田県</p> <p>①第75回本大会 (令和2年10月3日～10月13日)</p> <p>②第76回冬季大会 (スケート・アイスホッケー・スキー：令和3年1月～2月)</p>	定額	54,584	58,253	3,669	スポーツ 振興課
4	公益財団法人 兵庫県体育協 会加盟団体等	<p><b>「はばタンスポーツ基金」活用事業</b></p> <p>「のじぎく兵庫国体」「のじぎく兵庫大会」の余剰金により創設した「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、全国規模の大会を誘致することにより、本県選手の競技力向上に資するとともに、県民に質の高い競技を観戦する機会を提供する。</p> <p>[大会名]</p> <p>① 第65回日本泳法大会</p> <p>② 令和2年度全日本高等学校ボクシング東西対抗戦</p> <p>③ 第22回全日本選抜還暦軟式野球大会</p> <p>④ 第29回全国中学新人競漕大会</p> <p>⑤ 全日本学生弓道選手権大会</p> <p>⑥ 海の甲子園ユースセーリングカップ</p>	定額	6,000	6,000	0	スポーツ 振興課
5	ひょうご女性 スポーツの会	<p><b>「ひょうご女性スポーツの会」運営費補助</b></p> <p>「ワールドマスターズゲームズ2021関西」への参加を促進し、女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツ人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会の活動を支援</p> <p>①総会・総合開会式の開催</p> <p>②競技別大会の実施</p> <p>③研修会の実施</p>	定額	5,000	5,000	0	スポーツ 振興課
			計	336,078	341,146	5,068	

## 「地域スポーツの今後の活性化」について

兵庫県スポーツ推進審議会条例

昭和 37 年 4 月 1 日  
条例第 21 号

改正 平成 20 年 3 月 24 日条例第 30 号 平成 23 年 10 月 7 日条例第 41 号

兵庫県スポーツ振興審議会条例をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会条例

題名改正〔平成 23 年条例 41 号〕

(設置)

第 1 条 スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。）第 31 条の規定に基づき、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

全部改正〔平成 23 年条例 41 号〕

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 法第 10 条第 1 項の規定によるスポーツ推進計画の策定に関する事項
- (2) 法第 35 条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関する重要事項

追加〔平成 23 年条例 41 号〕

(定数)

第 3 条 委員の定数は、15 人とする。

一部改正〔平成 23 年条例 41 号〕

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

一部改正〔平成 23 年条例 41 号〕

(補則)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、審議会に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成 23 年条例 41 号〕

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。  
(附属機関設置条例の一部改正)
- 2 附属機関設置条例（昭和 36 年兵庫県条例第 20 号）の一部を次のように改正する。  
第 2 条の表に次のように加える。

スポーツ推進審議会	スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）によるスポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項の調査審議に関する事務
-----------	---

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 3 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 35 年兵庫県条例第 24 号）の一部を次のように改正する。

第 1 条第 41 号から第 42 号の 2 までを次のように改める。

(41)から(42)の 2 まで 削除

第 1 条第 77 号の次に次の 1 号を加える。

(77)の 2 スポーツ推進審議会

別表第 1 スポーツ振興審議会の項を削り、同表人と自然の博物館協議会の項の次に次のように加える。

スポーツ推進審議会	委員	日額	12,500 円
-----------	----	----	----------

別表第 2 スポーツ振興審議会の委員の項を削り、同表人と自然の博物館協議会の委員の項の次に次のように加える。

スポーツ推進審議会の委員	職員旅費条例中 8 級の職務にある者相当額
--------------	-----------------------

## 兵庫県スポーツ推進審議会規則

昭和 37 年 4 月 1 日  
教育委員会規則第 7 号

改正 昭和 40 年 6 月 1 日教育委員会規則第 9 号 昭和 42 年 8 月 18 日教育委員会規則第 10 号  
昭和 47 年 4 月 1 日教育委員会規則第 26 号 昭和 58 年 4 月 1 日教育委員会規則第 9 号  
平成 23 年 10 月 7 日教育委員会規則第 12 号

兵庫県スポーツ振興審議会規則をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

**第 1 条** この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例（昭和 37 年兵庫県条例第 21 号）第 5 条に基づき、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(会長)

**第 2 条** 審議会に会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長の任期は、委員としての任期とする。

(会長の職務及びその代理)

**第 3 条** 会長は、審議会の会務を総理する。

2 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

**第 4 条** 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、在任委員の半数以上の出席がなければ、議事を開き議決をすることができない。

(幹事)

**第 5 条** 審議会に、幹事若干人を置く。

2 幹事は、兵庫県教育委員会事務局職員又は関係行政機関の職員のうちから教育委員会が委嘱する。

3 幹事は、会長の命を受け調査審議について委員を助ける。

(補則)

**第 6 条** この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和 40 年 6 月 1 日教育委員会規則第 9 号）

この規則は、公布の日から施行し、昭和 40 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（昭和 42 年 8 月 18 日教育委員会規則第 10 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、昭和 42 年 8 月 18 日から施行する。

附 則（昭和 47 年 4 月 1 日教育委員会規則第 26 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和 58 年 4 月 1 日教育委員会規則第 9 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 23 年 10 月 7 日教育委員会規則第 12 号）

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に兵庫県スポーツ振興審議会の委員に委嘱されている者は、兵庫県スポーツ推進審議会の委員に委嘱されたものとみなす。この場合において、その委員の任期は、兵庫県スポーツ振興審議会の委員として委嘱された日から起算する。

(兵庫県教育委員会行政組織規則の一部改正)

3 兵庫県教育委員会行政組織規則（昭和 58 年兵庫県教育委員会規則第 9 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)